

市報  
No.1209  
2/1  
平成28年(2016年)  
毎月1日・15日発行

手をつなぎ 心をつむぐ みどりの清瀬

# きよせ

## 今号の主な内容

- 市民ルポルタージュ「清瀬駅～外気舎記念館を歩く」… 2面
  - 大雪に備えて早めの対策を… 3面
  - コラム「消費生活相談の現場から」「地域のキズナ」… 4面
  - お知らせ～information… 5～8面
- スマートフォンなどで市報が読める「i広報紙」ダウンロードはこちら⇒



発行/清瀬市 編集/企画部秘書広報課 所在地/〒204-8511 東京都清瀬市中里五丁目842 電話/042-492-5111 (代表) ファクス/042-492-2415 メール/kouhou@city.kiyose.lg.jp URL/http://www.city.kiyose.lg.jp/



## 郷土博物館企画展 林亮太 作品展

# ひかり いろどり 光と彩 かげり うつつしえ 陰に影

2月11日(木)～28日(日)午前9時～午後5時(月曜休館・入場無料)

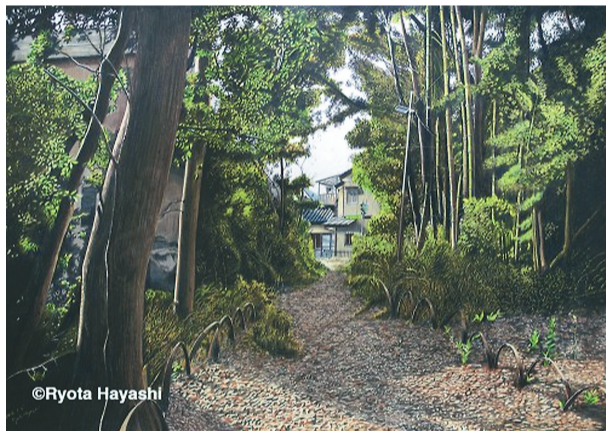
色鉛筆のみで描かれた、林亮太氏の風景画。その独特の光と影のコントラストによる表現は、見る者に驚きと感動を与えます。

平成27年11月に設立30周年を迎えた郷土博物館が、満を持してお送りする特別な企画展です。清瀬ののどかな街並みや、普段から見慣れた、街の風景などの作品も数点出品されます。ぜひご来場ください。

問合せ 郷土博物館 ☎ 493・8585

木漏れ日 キヨセケヤキロードギャラリー ©Ryota Hayashi

### 清瀬市を題材にした主な作品(展示予定)



冬の音 清瀬市台田の杜 ©Ryota Hayashi



秋空 清瀬市上清戸 ©Ryota Hayashi

#### <林亮太氏のコメント>

清瀬市には住んだことはありませんが、昔から買い物やちょっとした用事があり訪れることの多い場所です。

武蔵野の自然を残しながら、歴史ある邸宅と新興住宅地そして農地が混在する空間は、風景画家の私にとって題材に事欠きません。

少し歩くだけで魅力的な景色が目に入りますが、その景観の中に存在する郷土博物館ギャラリーで展示会を開けることは望外の幸せです。今回の展示会のために新たに清瀬市の風景を数枚描き起しました。

ぜひ皆さんも清瀬の魅力を再発見していただければと思います。

画家/グラフィックデザイナー  
はやしりょうた  
**林亮太氏**

1961年11月1日生まれ、早稲田大学第一文学部美術史専攻卒業。1995年よりグラフィックデザイナー・イラストレーターとして音楽業界・学校教育関係を中心に活動している。

光の明暗を巧みに表現し、色鉛筆だけで写真以上にリアルに描く技法は他に類がなく、2014年にはアメリカの色鉛筆専門誌「COLORED PENCIL Magazine」にピックアップアーティストとして特集された。

◆林亮太 作品展「光と彩 陰に影」概要◆  
日時 2月11日(木)～28日(日)午前9時～午後5時(月曜休館・入場無料)  
場所 郷土博物館(右図参照)  
※直接会場へ。駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。



## 関連事業

### ◆関連事業その1 <絵画教室「はじめての色鉛筆画」>

林亮太氏を講師に迎え、実際に色鉛筆画を描きます。観察の目、描き方の指導を受けると、初めての方でも驚くほど上手に描けます。

対象 市内在住の18歳以上の方。各回先着10人(参加は1人に付き1回のみ)

日時 2月14日(日)・28日(日)のいずれも午後1時30分～3時30分

持ち物 油性色鉛筆12色セット・A4画用紙1枚・鉛筆(2B)・消しゴム

### ◆関連事業その2 <作者と共に絵を観る会>

林亮太氏による展示作品の見どころや解説。観察の目・独自の技法・超リアルな絵が完成するまでのプロセスを知ることができます。先着30人。

日時 2月21日(日)午後1時30分～3時

申込み 関連事業その2は直接会場へ。関連事業その1は2月2日午前9時から電話で郷土博物館 ☎ 493・8585 へ

※関連事業その1・2とも参加費無料。